

9月4日（月）案

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4
		着任時	初任期 (1年～6年)	中堅期 (7年～15年)	充実期 (16年～24年)	熟練期(25年～)
基本的 資質能力	責任感、コンプライアンス意識、社会性、人間性、自己研鑽	○児童生徒に対する教育的愛情と教職に対する使命感・情熱を持っている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○社会人として必要な常識を身に付けている。 ○円滑な人間関係が築けるコミュニケーション能力がある。 ○常に学び続けようとする意欲がある。 ○基本的な事務処理能力がある。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。 ○児童生徒、保護者、同僚等と円滑にコミュニケーションができる。 ○自己の成長を目指し、研修に励むなど、他から積極的に学ぶことができる。 ○事務処理が正確に行える。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、社会人として模範となる良識ある言動ができる。 ○児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質向上に向けて自己を振り返り、積極的に学ぶことができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、教職員として模範となる良識ある言動ができる。 ○児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わることができる。 ○さらなる資質向上に向けて自己を振り返り、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。	○教育的愛情や高い使命感・情熱に基づき率先して行動でき、高い信頼のもと、指導的役割を果たせる。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員に関わり、的確に助言できる。 ○児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、的確に指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら学校運営に当たることができる。
		○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。 ○人権教育に関する基本的な知識がある。 ○学力や学校生活に課題を抱える児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基本的な知識がある。 ○ICT機器の活用等、授業改善のための方法・技術を学ぶ意欲がある。	○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○学力や学校生活に課題を抱える児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に努めている。 ○特別な配慮が必要な児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組める。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に取り組める。	○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員への助言ができる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮が必要な児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、提供できる。 ○他校の特別支援コーディネーターとも連携し、計画的な支援に取り組める。	○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、助言ができる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に助言できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に助言できる。 ○特別な配慮が必要な児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に助言できる。 ○他校の特別支援コーディネーターとも連携し、効果的・計画的な支援体制を構築できる。	○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となる行動し、指導ができる。 ○人権教育を推進する牽引役として、校内の推進体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に助言できる。 ○特別な配慮が必要な児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえ、効果的な支援の体制を構築できる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、学校全体におけるカリキュラム・マネジメントを方向づけ推進できる。
学習指導	教育課程の実践、カリキュラム・マネジメント、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	○学習指導要領や指導案作成に関する基礎的知識を有し、指導案を作成できる。 ○教科の内容や指導方法の基本的な知識や、基礎的な指導技術を有している。 ○学習評価にかかわる基本的な事項を理解している。 ○ICT機器の活用等、授業改善のための方法・技術を学ぶ意欲がある。	○学習指導要領を踏まえた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ○教科の内容や指導方法を深めるための教材研究に取り組み、指導技術を高めようとする意欲がある。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向け努力できる。 ○学習過程や成果に対して的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。 ○担当学年・担当分掌の範囲でカリキュラム・マネジメントが理解できる。 ○ICT活用の知識と技能を持ち、それを利用した授業ができる。	○教科の単元の系統性を踏まえた指導計画を作成し、児童生徒が主体となる授業を展開できる。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善、教材研究に取り組み、成果を提供できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善の方法を提供できる。 ○担当学年・担当分掌の範囲でカリキュラム・マネジメントができる。 ○ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効果的な授業ができる。	○教科の単元の系統性を踏まえた指導計画の作成について、他の教職員に助言できる。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善や教材研究に取り組み、成果を提供できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、授業改善の方法を提供できる。 ○学校全体におけるカリキュラム・マネジメントの推進に取り組める。 ○ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効果的な授業方法を提供できる。	○児童生徒が主体となる創意工夫をこらした授業を展開し、他の教職員への指導ができる。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や教材研究の仕方等を他の教職員に助言できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、授業改善の方法を他の教職員に助言できる。 ○学校全体におけるカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たせる。 ○ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効果的な授業方法を助言できる。
		○児童生徒理解やカウンセリングマインドの必要性を認識し、基本的な知識を理解している。 ○児童生徒指導や教育相談の基本的な知識や技能を理解している。 ○学級担任の職務や役割についての基本的な知識を有している。 ○同僚の教師と協力しながら、担任として責任を持って学級経営ができる。 ○キャリア教育に関する意義を理解し、基本的な知識を有している。	○担当する学級の児童生徒の個性や人間関係を踏まえた指導が的確に行える。 ○カウンセリングマインドを持って、受容的、共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、問題行動の解決に向け他の教員と協力して活動できる。 ○担任として児童生徒一人一人が尊重された学級経営を推進するとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 ○キャリア教育の視点を活かした教育活動が行える。	○担当する学級の児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導が的確に行える。 ○カウンセリングマインドを持って、受容的、共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養することができる。 ○問題行動の解決に向け、学校や学年の実態を踏まえ、主任や学級担任として、助言し支援できる。 ○キャリア教育の視点を活かした効果的な教育活動を提供できる。	○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、助言ができる。 ○カウンセリングマインドを持った児童生徒への指導方法について助言できる。 ○問題行動の解決に向け、学校や学年の実態を踏まえ、危機管理の的確に助言し支援ができる。 ○キャリア教育の視点を活かした効果的な教育活動について他の教職員へ助言・指導できる。	○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、指導できる。 ○カウンセリングマインドを持った指導方法について指導できる。 ○問題行動の解決に向け、関係機関とも連携しながら、危機管理の的確に助言し支援ができる。 ○キャリア教育の視点を活かした効果的な教育活動の全体の進行管理ができる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、学校安全、危機管理	○校務分掌や学校運営の仕組みを理解している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基本的な知識がある。	○学校における自己の役割を理解し、責任を持って果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うことができる。	○自己に課せられた校務分掌の役割を中心となって果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○学年団や分掌組織内の教員を支援しながら、中心となって役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校務分掌の役割に加え、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的に参画することができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○学年団や分掌組織内の教員を支援しながら、中心となって役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的に役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の業務改善から業務改善を図ることができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、周囲に助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。
		○他の教職員、家庭や地域、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○人材育成の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導を受け、向上しようとする姿勢がある。	○他の教職員と連携協働して業務が遂行できる。 ○保護者や地域と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務が遂行できる。 ○管理職や先輩教職員からの指導を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、資質向上に向け取り組むことができる。	○担当教科や校務分掌の中で、他の教職員と連携・協働しながら、自らに課せられた役割を果たせる。 ○保護者や地域の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映しようとしている。 ○専門家や関係機関と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、自己の資質向上に向け積極的に取り組むとともに、後輩教職員への適切な助言ができる。	○校内の教職員を支援しながら、学校全体の連携協働の要として役割を果たせる。 ○チーム学校を推進するため、保護者や地域、専門家や関係機関と連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言や支援を行ったりしながら、校内の人材育成に中心的な役割を果たせる。	○教職員個々人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、共同で効率的な組織を構築し、機能させていくことができる。 ○保護者や地域、専門家や関係機関との連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けた取組を中心として推進できる。 ○教職員個々人のキャリアステージに応じた資質能力の形成を支援・指導し、校内全体の人材育成に指導的役割を果たせる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの表現、京都の伝統文化の理解と発信、グローバル	○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化に対する基本的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○グローバル化を見据え、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。	○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、教育活動に還元しようとする意欲がある。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒に伝えることができる。 ○グローバル化を見据え、児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等の育成を意識した指導ができる。	○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、教育活動に還元できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学習を構想し実践できる。 ○グローバル化を見据え、児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するための効果的な指導について提案できる。	○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた教育活動の還元について、他の教職員に助言できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○グローバル化を見据え、児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。	○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた方向性や理念について周囲に教示できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を企画し推進できる。 ○グローバル化を見据え、児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。

※（ ）内は採用からの年数の目安である。

9月4日（月）案

観点	（主な要素）	ステージ0	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4
		着任時	初任期 （1年～6年）	中堅期 （7年～15年）	充実期 （16年～24年）	熟練期（25年～） <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; text-align: center;">学校経営を担う者</div>
基本的 資質能力	責任感、コンプライアンス意識、社会性、人間性、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> 〇生徒に対する教育的愛情と教職に対する使命感・情熱を持っている。 〇教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 〇社会人として必要な常識を身に付けている。 〇円滑な人間関係が築けるコミュニケーション能力がある。 〇常に学び続けようとする意欲がある。 〇基本的な事務処理能力がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 〇コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。 〇生徒、保護者、同僚等と円滑にコミュニケーションができる。 〇自己の成長を目指し、研修に励むなど、他から積極的に学ぶことができる。 〇事務処理が正確に行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 〇コンプライアンス意識を有し、社会人として模範となる良識ある言動ができる。 〇生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができる。 〇中堅教員としての資質向上に向けて自己を振り返り、積極的に学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 〇コンプライアンス意識を有し、教職員として模範となる良識ある言動ができる。 〇生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わることができる。 〇さらなる資質向上に向けて自己を振り返り、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教育的愛情や高い使命感・情熱に基づき率先して行動でき、高い信頼のもと、指導的役割を果たせる。 〇コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 〇生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員に助言できる。 〇生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、的確に指導できる。 〇リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力高めながら学校運営に当たることができる。
人権	人権尊重、特別な配慮を必要とする生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。 〇人権教育に関する基本的な知識がある。 〇学力や学校生活に課題を抱える生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 〇一人一人の生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基本的な知識がある。 〇特別な配慮を必要とする生徒への支援に関する基本的な知識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神に基づいて行動できる。 〇人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 〇学力や学校生活に課題を抱える生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 〇特別な配慮が必要な生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組める。 〇特別な配慮を必要とする生徒への支援に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員への助言ができる。 〇人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 〇学力や学校生活に課題を抱える生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 〇特別な配慮が必要な生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組める。 〇特別な配慮を必要とする生徒の支援に的確に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員への助言ができる。 〇人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 〇学力や学校生活に課題を抱える生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に助言できる。 〇特別な配慮が必要な生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に助言できる。 〇他校の特別支援コーディネーターとも連携し、計画的な支援に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、助言ができる。 〇人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に助言できる。 〇学力や学校生活に課題を抱える生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に助言できる。 〇特別な配慮が必要な生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に助言できる。 〇他校の特別支援コーディネーターとも連携し、効果的・計画的な支援体制を構築できる。
学習指導	教育課程の実践、カリキュラム・マネジメント、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> 〇学習指導要領や指導案作成に関する基礎的知識を有し、指導案を作成できる。 〇教科の内容についての専門的な知識がある。 〇教科の指導方法の基本的な知識や、基礎的な指導技術を有している。 〇学習評価にかかわる基本的な事項を理解している。 〇ICT機器の活用等、授業改善のための方法・技術を学ぶ意欲がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇学習指導要領を踏まえた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 〇教科の専門性をさらに高め、教科内容や指導方法を深めるための教材研究に取り組み、指導技術を高めようと努力できる。 〇学校の設置学科・コースの特色や教育目標を理解している。 〇学習過程や成果に対して評価や評定ができる。 〇担当学年・担当分掌についてカリキュラム・マネジメントが理解できる。 〇ICT活用の知識と技能を持ち、それを利用した授業ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教科の単元の系統性を踏まえた指導計画を作成し、児童生徒が主体となる授業を展開できる。 〇学校の設置学科・コースの特色や教育目標に応じた学習の実現に向け、授業改善、教材研究に取り組む意欲がある。 〇学習過程や成果に対する確かな評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。 〇担当学年・担当分掌の範囲でカリキュラム・マネジメントができる。 〇ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効果的な授業ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教科の単元の系統性を踏まえた指導計画の作成について、他の教職員に助言できる。 〇学校の設置学科・コースの特色や教育目標に応じた学習の実現に向け、授業改善、教材研究の仕方を他の教職員に助言できる。 〇学習過程や成果に対する確かな評価や評定と、授業改善の方法を他の教職員に助言できる。 〇学校全体におけるカリキュラム・マネジメントの推進に取り組める。 〇ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効果的な授業方法を提供できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇生徒が主体となる創意工夫をこらした授業を展開し、他の教職員への指導ができる。 〇学校の設置学科・コースの特色や教育目標に応じた学習の実現に向けた授業改善や教材研究の仕方 〇学習過程や成果に対する確かな評価や評定と、授業改善の方法を他の教職員に助言できる。 〇学校全体におけるカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たせる。 〇ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効果的な授業方法を助言できる。
生徒指導	学級経営、生徒理解、生徒指導、教育相談、カウンセリング、進路指導、キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 〇生徒理解やカウンセリングマインドの必要性を認識し、基本的な知識を理解している。 〇生徒指導や教育相談の基本的な知識や技能を理解している。 〇学級担任の職務や役割についての基本的な知識を有している。 〇キャリア教育に関する意義を理解し、基本的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇担当する学級の生徒の個性や人間関係を踏まえた指導に取り組める。 〇カウンセリングマインドを持って生徒と関わることができる。 〇生徒の変化に気づき、問題行動の解決に向け他の教員と協力して活動できる。 〇同年の教師と協力しながら、担任として責任を持って学級経営ができる。 〇生徒の希望進路の実現に向けた指導に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇担当する学級の生徒の個性や人間関係を踏まえた指導が的確に行える。 〇カウンセリングマインドを持って、受容的、共感的に生徒と関わることができる。 〇生徒の変化に気づき、問題行動の解決に向け他の教員と協力して積極的に活動できる。 〇担任として生徒一人一人が尊重された学級経営を推進するとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 〇キャリア教育の視点を活かした進路指導が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇担当する学級の生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導が的確に行える。 〇カウンセリングマインドを持って、受容的、共感的に生徒と関わり、自己肯定感を涵養することができる。 〇問題行動の解決に向け、学校や学年の実態を踏まえ、主任や学級担任として、助言し支援できる。 〇キャリア教育の視点を活かした進路指導など、効果的な教育活動を提供できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、助言ができる。 〇カウンセリングマインドを持った生徒への指導方法について助言できる。 〇問題行動の解決に向け、関係機関とも連携しながら、危機管理の意識を持って、見通しを持った対応の方向性を示すことができる。 〇キャリア教育の視点を活かした進路指導など、効果的な教育活動について他の教職員へ助言・指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 〇校務分掌や学校運営の仕組みを理解している。 〇組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 〇学校安全や危機管理の重要性を理解し、基本的な知識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇学校における自己の役割を理解し、責任を持って果たすことができる。 〇効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 〇学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇自己に課せられた校務分掌の役割を中心となって果たすことができる。 〇効率的な業務の遂行に向け、前例にとられることなく業務改善を提案することができる。 〇学校の課題を踏まえて、学校運営の改善の視点を持つことができる。 〇学校安全や危機管理の観点から、組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇校務分掌の役割に加えて、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的に参画することができる。 〇効率的な業務の遂行に向け、前例にとられることなく業務改善の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を提案できる。 〇学年団や分掌組織内の教員を支援しながら、中心となって役割を果たすことができる。 〇学校安全や危機管理の観点から、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的に役割を果たすことができる。 〇効率的な業務の遂行に向け、学校全体の業務改善に向け、教職員の資質能力を指導できる。 〇一人一人の教職員の資質能力や役割を的確に把握し、活用し、協働的に効果的な組織を作ることができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> 〇他の教職員、家庭や地域、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 〇人材育成の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導を受け、向上しようとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇他の教職員と連携協働して業務が遂行できる。 〇保護者や地域と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 〇専門家や関係機関と連携しながら業務が遂行できる。 〇管理職や先輩教職員からの指導や助言を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、資質向上に向け取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇担当教科や校務分掌の中で、他の教職員と連携・協働しながら、自らに課せられた役割を果たせる。 〇保護者や地域の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映しようとしている。 〇専門家や関係機関と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 〇管理職や先輩教職員からの指導を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、自己の資質向上に向け積極的に取り組むとともに、後輩教職員への適切な助言ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇担当教科や校務分掌の中心となって、他の教職員を支援しながら、的確に役割を果たせる。 〇チーム学校を推進するため、保護者や地域、専門家や関係機関と連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 〇他の教職員から相談を受けたり助言したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教職員個々人の資質能力や役割を的確に把握し、活用し、共同で効果的な組織を構築し、機能させていくことができる。 〇保護者や地域、専門家や関係機関との連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けた取組を中心となって推進できる。 〇教職員個々人のキャリアステージに応じた資質能力の形成を支援・指導し、校内全体の人材育成に指導的役割を果たせる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの表現、京都の伝統文化の理解と発信、グローバル	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 〇京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化に対する基本的な知識を有し、生徒に継承していくことの必要性を理解している。 〇グローバル化を見据え、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、生徒に身に付けさせる必要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、教育活動に還元しようとする努力ができる。 〇次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、生徒に伝えることができる。 〇グローバル化を見据え、生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等の育成を意識した指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、教育活動に還元できる。 〇次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学習を構想し実践できる。 〇グローバル化を見据え、生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するための効果的な指導について提案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた教育活動の還元について、他の教職員に助言できる。 〇次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 〇グローバル化を見据え、生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた方向性や理念について周囲に教示できる。 〇次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を企画し推進できる。 〇グローバル化を見据え、生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。

※（ ）内は採用からの年数の目安である。

9月4日（月）案

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4
		着任時	初任期 (1年～6年)	中堅期 (7年～15年)	充実期 (16年～24年)	熟練期(25年～) 学校経営を担う者
基本的 資質能力	責任感、コンプライアンス意識、社会性、人間性、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> 〇幼児児童生徒に対する教育的愛情と教職に対する使命感・情熱を持っている。 〇教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 〇社会人として必要な常識を身に付けている。 〇円滑な人間関係が築けるコミュニケーション能力がある。 〇常に学び続けようとする意欲がある。 〇基本的な事務処理能力がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 〇コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。 〇幼児児童生徒、保護者、同僚等と円滑にコミュニケーションができる。 〇自己の成長を目指し、研修に励むなど、他から積極的に学ぶことができる。 〇事務処理が正確に行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 〇コンプライアンス意識を有し、社会人として模範となる良識ある言動ができる。 〇幼児児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができる。 〇中堅教員としての資質向上に向けて自己を振り返り、積極的に学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 〇コンプライアンス意識を有し、教職員として模範となる良識ある言動ができる。 〇幼児児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わることができる。 〇さらなる資質向上に向けて自己を振り返り、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教育的愛情や高い使命感・情熱に基づき率先して行動でき、高い信頼のもと、指導的役割を果たせる。 〇コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 〇幼児児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員に関わり、的確に助言できる。 〇自らの授業を見直し新しい指導方法を取り入れ、常に授業改善を図るなど、高い意欲を持って不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力高めながら学校運営に当たることができる。
人権	人権尊重、特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。 〇人権教育に関する基本的な知識がある。 〇学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 〇一人一人の幼児児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基本的な知識がある。 〇特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への支援に関する基本的な知識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神に基づいて行動できる。 〇人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 〇学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に努めている。 〇特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組める。 〇特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への支援に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 〇人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 〇学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 〇特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組める。 〇特別な配慮を必要とする幼児児童生徒の支援に的確に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員への助言ができる。 〇人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 〇学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に助言できる。 〇特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、提供できる。 〇他校の特別支援コーディネーターとも連携し、計画的な支援に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、助言ができる。 〇人権教育を推進する牽引役として、校内の推進体制を整え、取組を企画・指導できる。 〇学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、学校の推進体制を構築し指導できる。 〇特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に助言できる。 〇他校の特別支援コーディネーターとも連携し、効果的・計画的な支援体制を構築できる。
学習指導	教育課程の実践、カリキュラム・マネジメント、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> 〇学習指導要領や指導案作成に関する基礎的知識を有し、指導案を作成できる。 〇それぞれの障害特性を理解し、個別の指導計画や教育支援計画について基礎的知識を有している。 〇教科の内容や指導方法の基本的な知識や、基礎的な指導技術がある。 〇学習評価にかかわる基本的な事項を理解している。 〇ICT機器の活用等、授業改善のための方法・技術を学ぶ意欲がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇学習指導要領を踏まえた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 〇担当する児童生徒に応じた教材研究に取り組める。 〇主体的・対話的で深い学びの実現に向けて努力している。 〇学習過程や成果に対して評価や評定ができる。 〇担当学年・担当分掌についてカリキュラム・マネジメントが理解できる。 〇ICT活用の知識と技能を持ち、それを利用した授業ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教科の単元の系統性を踏まえた指導計画を作成し、幼児児童生徒が主体となる授業を展開できる。 〇主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善、教材研究に取り組んでいる。 〇学習過程や成果に対して的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。 〇担当学年・担当分掌の範囲でカリキュラム・マネジメントができる。 〇ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、効果的な授業ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教科の単元の系統性を踏まえた個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成について、他へ助言できる。 〇主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善、教材研究に取り組む、成果を提供できる。 〇学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、授業改善の方法を提供できる。 〇学校全体におけるカリキュラム・マネジメントの推進に取り組める。 〇ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効果的な授業方法を提供できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇児童生徒が主体となる創意工夫をこらした授業を展開し、他への指導ができる。 〇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や教材研究について、他へ助言できる。 〇学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、授業改善の方法を他に助言できる。 〇学校全体におけるカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たせる。 〇ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効果的な授業方法を助言できる。
生徒指導	学級経営、幼児児童生徒理解、幼児児童生徒指導、教育相談、カウンセリング、進路指導、キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 〇幼児児童生徒理解やカウンセリングマインドの必要性を認識し、基本的な知識を理解している。 〇障害の特性について理解し、幼児児童生徒指導の技法を学ぶようとしている。 〇学級担任の職務や役割についての基本的な知識を有している。 〇キャリア教育に関する意義を理解し、基本的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇特別支援教育や合理的配慮について理解している。 〇担当する学級の幼児児童生徒の個性や年齢に応じた指導・支援ができる。 〇カウンセリングマインドを持って幼児児童生徒と関わることができる。 〇幼児児童生徒の変化に気づき、問題行動の解決に向けて他の教員と協力して活動できる。 〇同学年の教師と協力しながら、担任として責任を持って学級経営ができる。 〇キャリア教育の視点を活かした教育活動に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇担当する学級の幼児児童生徒の個性や人間関係を踏まえた指導・支援が的確に行える。 〇カウンセリングマインドを持って、受容的、共感的に幼児児童生徒と関わることができる。 〇幼児児童生徒の変化に気づき、問題行動の解決に向けて他の教員と協力して積極的に活動できる。 〇担任として幼児児童生徒一人一人のニーズに合った学級経営を推進するとともに、学部全体の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 〇キャリア教育の視点を活かした教育活動が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇担当する学級の幼児児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導が的確に行える。 〇カウンセリングマインドを持って、受容的、共感的に幼児児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養することができる。 〇問題行動の解決に向け、学校や学年の実態を踏まえ、主任や学級担任として、助言し支援できる。 〇キャリア教育の視点を活かして、幼児児童生徒の自立と社会参加を見据えた教育活動を提供できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇幼児児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、助言ができる。 〇カウンセリングマインドを持った幼児児童生徒への指導方法について助言できる。 〇問題行動の解決に向け、関係機関とも連携しながら、危機管理の意識を持って、見通しを持った対応の方向性を示すことができる。 〇キャリア教育の視点を活かした幼児児童生徒の自立と社会参加を見据えた教育活動について他の教職員へ助言・指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 〇校務分掌や学校運営の仕組みを理解している。 〇組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 〇学校安全や危機管理の重要性を理解し、基本的な知識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇学校における自己の役割を理解し、責任を持って果たすことができる。 〇効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 〇学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇自己に課せられた校務分掌の役割を中心となって果たすことができる。 〇効率的な業務の遂行に向け、前例にとられることなく業務改善の提案ができる。 〇学校の課題を踏まえて、学校運営の改善の視点を持つことができる。 〇学校安全や危機管理の観点から、組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇校務分掌の役割に加えて、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的に参画することができる。 〇効率的な業務の遂行に向け、前例にとられることなく業務改善の提案ができる。 〇学年団や分掌組織内の教員を支援しながら、中心となって役割を果たすことができる。 〇学校安全や危機管理の観点から、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的に参画することができる。 〇効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 〇学校安全や危機管理の観点から、周囲に助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> 〇他の教職員、家庭や地域、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 〇人材育成の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導を受け、向上しようとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇他の教職員と連携協働して業務が遂行できる。 〇保護者や地域と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 〇専門家や関係機関と連携しながら業務が遂行できる。 〇管理職や先輩教職員からの指導や助言を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、資質向上に向け取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇担当教科や校務分掌の中で、他の教職員と連携・協働しながら、自らに課せられた役割を果たせる。 〇保護者や地域の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映しようとしている。 〇専門家や関係機関と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 〇管理職や先輩教職員からの指導を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、自己の資質向上に向け積極的に取り組むとともに、後輩教職員への適切な助言ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇担当教科や校務分掌の中心となって、他の教職員を支援しながら、的確に役割を果たせる。 〇チーム学校を推進するため、保護者や地域、専門家や関係機関と連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 〇他の教職員から相談を受けたり助言したりしながら、人材育成に積極的に関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇教職員個々人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、共同での効果的な組織を構築し、機能させていくことができる。 〇保護者や地域、専門家や関係機関との連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けた取組を中心となって推進できる。 〇他の教職員から相談を受けたり、助言や支援を行ったりしながら、校内の人材育成に中心的な役割を果たせる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの表現、京都の伝統文化の理解と発信、グローバル	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 〇京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化に対する基本的な知識を有し、幼児児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 〇グローバル化を見据え、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、幼児児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、教育活動に還元しようとする努力ができる。 〇次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、幼児児童生徒に伝えることができる。 〇グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等の育成を意識した指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、豊かな教育活動が展開できる。 〇次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学習を構想し実践できる。 〇グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するための効果的な指導について提案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた教育活動の還元について、他の教職員に助言できる。 〇次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 〇グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた方向性や理念について周囲に教示できる。 〇次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を企画し推進できる。 〇グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。

※（ ）内は採用からの年数の目安である。

9月4日（月）案

観点	（主な要素）	ステージ0	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4
		着任時	初任期 （1年～6年）	中堅期 （7年～15年）	充実期 （16年～24年）	熟練期（25年～） <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; text-align: center;">学校経営を担う者</div>
基本的 資質能力	責任感、コンプライアンス意識、社会性、人間性、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児児童生徒に対する教育的愛情と教職に対する使命感・情熱を持っている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○社会人として必要な常識を身に付けている。 ○円滑な人間関係が築けるコミュニケーション能力がある。 ○常に学び続けようとする意欲がある。 ○基本的な事務処理能力がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。 ○幼児児童生徒、保護者、同僚等と円滑にコミュニケーションができる。 ○自己の成長を目指し、研修に励むなど、他から積極的に学ぶことができる。 ○事務処理が正確に行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、社会人として模範となる良識ある言動ができる。 ○幼児児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質向上に向けて自己を振り返り、積極的に学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、教職員として模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○幼児児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わることができる。 ○さらなる資質向上に向けて自己を振り返り、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が確立されている。 ○幼児児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、的確に指導できる。 ○高い意欲を持って不断の研鑽に励み、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。
人権	人権尊重、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。 ○人権教育に関する基本的な知識がある。 ○学力や学校生活に課題を抱える児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の幼児児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基本的な知識がある。 ○特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への支援に関する基本的な知識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○学力や学校生活に課題を抱える児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に努めている。 ○特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組める。 ○特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への支援に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組める。 ○特別な配慮を必要とする幼児児童生徒の支援に的確に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員への助言ができる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、提供できる。 ○他校の特別支援コーディネーターとも連携し、計画的な支援に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、助言ができる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に助言できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に助言できる。 ○特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に助言できる。 ○他校の特別支援コーディネーターとも連携し、効果的・計画的な支援体制を構築できる。
養護教諭としての 専門領域	保健管理、保健教育、健康相談、保健組織活動、保健室経営、指導方法、指導技術、ICT活用、幼児児童生徒理解、幼児児童生徒指導、教育相談、カウンセリング	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児児童生徒の怪我や病気、事故等への対応について、基礎的な知識と対処方法を知っている。 ○学習指導要領及び学校保健安全法や保健管理、保健教育について基本的な知識を有している。 ○健康相談や保健指導の基本的な方法を理解している。 ○保健組織活動の意義と重要性を理解している。 ○ICT機器の活用等、授業改善のための方法・技術を学ぶ意欲がある。 ○幼児児童生徒理解やカウンセリングマインドの必要性を認識し、基本的な知識を理解している。 ○幼児児童生徒指導や教育相談の基本的な知識を有している。 ○養護教諭の職務や役割についての基本的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児児童生徒の怪我や病気、事故等への対応について、基礎的な知識に基づき、的確に対処できる。 ○幼児児童生徒の発達段階に応じた健康課題を把握し、適切に対処できる。 ○保健教育における自身の役割を理解し、専門性を活かした保健教育ができる。 ○健康相談の基本的な過程を理解し、児童生徒の心身の発達段階に応じた健康相談を実施できる。 ○保健組織活動を推進できるよう、企画運営に参画できる。 ○ICT活用の知識と技能を持ち、それを利用した業務ができる。 ○カウンセリングマインドを持って幼児児童生徒と関わることができる。 ○幼児児童生徒の変化に気づき、問題行動の解決に向けた他の教員と協力して活動できる。 ○保健室経営計画に基づき、保健室を経営、評価し、次年度の取組に活かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児児童生徒の怪我や病気、事故等への対応や未然防止について知識を深め、的確に対処できるとともに校内全体へ助言できる。 ○保健管理について指導的立場で活動し、健康課題に組織的に対応できる。 ○保健組織が主体的に活動できるよう、内容の工夫や改善を図ることができる。 ○ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効率的・効果的な業務ができる。 ○カウンセリングマインドを持って、受容的、共感的に幼児児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養することができる。 ○問題行動の解決に向け、学校や学年の実態を踏まえ、養護教諭としての専門性を活かして積極的に活動できる。 ○保健室経営計画に基づき、保健室を経営、評価し、学校教育目標の実現に向けた取組ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児児童生徒の怪我や病気、事故等への対応や未然防止について高い専門性と深い知識を持ち、的確に対処できるとともに校内だけでなく地域や府内へ発信できる。 ○近隣の学校と連携し、地域全体で健康づくりを進めることができ、自らの実践を発信できる。 ○ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用した効率的・効果的な業務方法を助言できる。 ○カウンセリングマインドを持った児童生徒への指導方法について助言できる。 ○問題行動の解決に向け、学校や学年の実態を踏まえ、他の教員に対して養護教諭としての専門性を活かした助言ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○養護教諭としての専門性を活かしながら、教育目標の実現に向けた取組について、校内全体の調整や進行管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもつて、学校全体におけるカリキュラム・マネジメントを方向づけ推進できる。 ○ICTを的確に活用した効率的・効果的な業務方法について、指導できる。 ○幼児児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、指導できる。 ○カウンセリングマインドを持った指導方法について指導できる。 ○問題行動の解決に向け、関係機関とも連携しながら、危機管理の意識を持って、見通しを持った対応の方向性を示すことができる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌や学校運営の仕組みを理解している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基本的な知識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校における自己の役割を理解し、責任を持って果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己に課せられた校務分掌の役割を中心となって果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○学校の課題を踏まえて、学校運営の改善の視点を持つことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌の役割に加えて、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的に参画することができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○学年団や分掌組織内の教員を支援しながら、中心となって役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的に役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、周囲に助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○他の教職員、家庭や地域、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○人材育成の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導を受け、向上しようとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他の教職員と連携協働して業務が遂行できる。 ○保護者や地域と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務が遂行できる。 ○管理職や先輩教職員からの指導や助言を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、資質向上に向け取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌の中で、他の教職員と連携・協働しながら、自らに課せられた役割を果たせる。 ○保護者や地域との状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映しようとしている。 ○専門家や関係機関と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、自己の資質向上に向け積極的に取り組むとともに、後輩教職員への適切な助言ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌の中心となって、他の教職員を支援しながら、的確に役割を果たせる。 ○チーム学校を推進するため、保護者や地域、専門家や関係機関と連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり助言したりしながら、人材育成に積極的に関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の教職員を支援しながら、学校全体の連携協働の要として役割を果たせる。 ○チーム学校を推進するため、保護者や地域、専門家や関係機関と連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言や支援を行ったりしながら、校内の人材育成に中心的な役割を果たせる。
京都ならではの 教育	京都府教育振興プランの表現、京都の伝統文化の理解と発信、グローバル	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化に対する基本的な知識を有し、幼児児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○グローバル化を見据え、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、幼児児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、教育活動に還元しようとする努力ができる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、幼児児童生徒に伝えることができる。 ○グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等の育成を意識した指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、豊かな教育活動に還元できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学習を構想し実践できる。 ○グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するための効果的な指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた教育活動の還元について、他の教職員に助言できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた方向性や理念について周囲に教示できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を企画し推進できる。 ○グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。

※（ ）内は採用からの年数の目安である。

9月4日（月）案

観点	（主な要素）	ステージ0	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4
		着任時	初任期 （1年～6年）	中堅期 （7年～15年）	充実期 （16年～24年）	熟練期（25年～） 学校経営を担う者
基本的 資質能力	責任感、コンプライアンス意識、社会性、人間性、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児児童生徒に対する教育的愛情と教職に対する使命感・情熱を持っている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○社会人として必要な常識を身に付けている。 ○円滑な人間関係が築けるコミュニケーション能力がある。 ○常に学び続けようとする意欲がある。 ○基本的な事務処理能力がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。 ○幼児児童生徒、保護者、同僚等と円滑にコミュニケーションができる。 ○自己の成長を目指し、研修に励むなど、他から積極的に学ぶことができる。 ○事務処理が正確に行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、社会人として模範となる良識ある言動ができる。 ○幼児児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質向上に向けて自己を振り返り、積極的に学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、教職員として模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○幼児児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わることができる。 ○さらなる資質向上に向けて自己を振り返り、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が確立されている。 ○幼児児童生徒、保護者、同僚等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、的確に指導できる。 ○高い意欲を持って不断の研鑽に励み、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。
人権	人権尊重、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。 ○人権教育に関する基本的な知識がある。 ○学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の幼児児童生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基本的な知識がある。 ○特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への支援に関する基本的な知識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に努めている。 ○特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組める。 ○特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への支援に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組める。 ○特別な配慮を必要とする幼児児童生徒の支援に的確に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員への助言ができる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に助言できる。 ○特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、提供できる。 ○他校の特別支援コーディネーターとも連携し、計画的な支援に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、助言ができる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に助言できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に助言できる。 ○特別な配慮が必要な幼児児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に助言できる。 ○他校の特別支援コーディネーターとも連携し、効果的・計画的な支援体制を構築できる。
栄養教諭としての 専門領域	学校給食の管理、食に関する指導、指導方法、指導技術、ICT活用、幼児児童生徒理解、幼児児童生徒指導、教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食の役割について理解し、適切な栄養管理を実施しようとしている。 ○衛生管理の重要性について理解し、適切な衛生管理を実施しようとしている。 ○学習指導要領や食に関する指導について、基本的な知識と基礎的な指導技術を有している。 ○食に関する健康課題や栄養相談についての基本的な知識を有している。 ○ICT機器の活用等、業務改善のための方法・技術を学ぶ意欲がある。 ○幼児児童生徒理解やカウンセリングマインドの必要性を認識し、基本的な知識を理解している。 ○幼児児童生徒指導や教育相談の基本的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食実施基準に基づいた献立が作成できる。 ○適切な衛生管理の実施のため、調理従事者や施設設備の衛生等に関して日常的に点検・確認ができる。 ○学習指導要領を理解し、食に関する指導の指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ○食に関する健康課題や栄養相談について基本的な知識を有し、食物アレルギー等の個々の状況に応じて的確に対応できる。 ○ICT活用の知識と技能を持ち、それを利用した業務ができる。 ○カウンセリングマインドを持って幼児児童生徒と関わることができる。 ○幼児児童生徒の変化に気づき、問題行動の解決に向け他の教員と協力して活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校にも積極的に発信できる。 ○学習指導要領を理解し、幼児児童生徒の学習段階や系統性も踏まえ、食に関する指導を的確に実施できる。 ○食に関する健康課題や栄養相談について高度な専門知識を有し、食物アレルギー等の個々の状況に応じて、他の教員と連携して的確に対応できる。 ○ICTを的確に活用する知識と技能を持ち、それを利用した効率的・効果的な業務ができる。 ○カウンセリングマインドを持って、受容的、共感的に幼児児童生徒と関わることができる。 ○幼児児童生徒の変化に気づき、問題行動の解決に向け他の教員と協力して積極的に活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校にも積極的に発信できる。 ○学習指導要領を理解し、幼児児童生徒の学習段階や系統性も踏まえ、食に関する指導を的確に実施できる。 ○食に関する健康課題や栄養相談について高度な専門知識を有し、食物アレルギー等の個々の状況について、教職員へ指導的役割を果たせる。 ○ICTを的確に活用する知識と技能を持ち、それを利用した効率的・効果的な業務方法を提供できる。 ○カウンセリングマインドを持って、自己肯定感を涵養することができ、 ○問題行動の解決に向け、学校や学年の実態を踏まえ、栄養教諭としての専門性を活かして積極的に活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校を含めてのリーダーとして、積極的に助言できる。 ○近隣の学校と連携し、食に関する指導や食物アレルギー等の健康課題への対応等について、地域全体に向けて自らの実践を発信できる。 ○ICTを的確に活用する知識や技能を持ち、それを利用して効率的・効果的な業務方法を助言できる。 ○カウンセリングマインドを持った幼児児童生徒への指導方法について助言できる。 ○問題行動の解決に向け、学校や学年の実態を踏まえ、他の教員に対して栄養教諭としての専門性を活かした助言ができる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌や学校運営の仕組みを理解している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基本的な知識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校における自己の役割を理解し、責任を持って果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己に課せられた校務分掌の役割を中心となって果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○学校の課題を踏まえて、学校運営の改善の視点を持つことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌の役割に加えて、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的に参画することができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○学年団や分掌組織内の教員を支援しながら、中心となって役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向けた学校全体のマネジメントに積極的な役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○一人一人の教職員の資質能力や役割を的確に把握し、活用し、協働的に効果的な組織を作ることができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○他の教職員、家庭や地域、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○人材育成の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導を受け、向上しようとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他の教職員と連携協働して業務が遂行できる。 ○保護者や地域と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務が遂行できる。 ○管理職や先輩教職員からの指導や助言を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、資質向上に向け取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌の中で、他の教職員と連携・協働しながら、自らに課せられた役割を果たせる。 ○保護者や地域の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映しようとしている。 ○専門家や関係機関と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導を受け、同僚教員と切磋琢磨する中で、自己の資質向上に向け積極的に取り組むとともに、後輩教職員への適切な助言ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌の中心となって、他の教職員を支援しながら、的確な役割を果たせる。 ○チーム学校を推進するため、保護者や地域、専門家や関係機関と連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり助言したりしながら、人材育成に積極的に関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員個々人の資質能力や役割を的確に把握し、活用し、共同で効率的な組織を構築し、機能させていくことができる。 ○保護者や地域、専門家や関係機関との連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けた取組を中心となって推進できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言や支援を行ったりしながら、校内の人材育成に中心的な役割を果たせる。
京都ならではの 教育	京都府教育振興プランの表現、京都の伝統文化の理解と発信、グローバル	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化に対する基本的な知識を有し、幼児児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○グローバル化を見据え、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、幼児児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、教育活動に還元しようとする努力ができる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深め、給食の献立の作成や食に関する指導が深められる。 ○グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等の育成を意識した指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向け、豊かな教育活動が展開できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための給食の献立の作成や食に関する効果的な指導を構想し実践できる。 ○グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するための効果的な指導について提案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた教育活動の還元について、他の教職員に助言できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、京都府教育振興プランの実現に向けた方向性や理念について周囲に教示できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を企画し、推進できる。 ○グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たせる。

※（ ）内は採用からの年数の目安である。

観点	(主な要素)	
<p>基本的 資質能力</p>	<p>責任感、コンプライアンス意識、社会性、人間性、自己研鑽</p>	<p>○高潔清廉な人柄で、心身ともに健康であり、教職への誇りをもって学校運営を行い、教職員、幼児児童生徒、保護者、地域等からの厚い信頼が確立されている。 ○幼児児童生徒に対する深い教育的愛情を有し、公教育を取り巻く社会的状況を把握するとともに学校内外の状況を理解し、学校運営のビジョンの構築に生かすことができる。 ○学校の最高責任者として広い視野と高い識見を持ち、迅速で適確な判断・決断を行うことができる。 ○学校の最高責任者として高い使命感を持つとともに、自らを省察し職能を成長させるために学び続けることができる。</p>
<p>人権</p>	<p>人権尊重、特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への支援</p>	<p>○高い人権感覚を有し、人権尊重の精神に基づく行動の模範となり、教職員の指導ができる。 ○人権教育に関する深い知識を有し、年間を見通して計画的に学校の取組を推進できる。 ○学力や学校生活に課題を抱える幼児児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、学校の推進体制を確立し、関係機関とも連携しながら、課題解決に向けて統括できる。 ○特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への支援も含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点をもち、校内体制の整備ができる。</p>
<p>学習指導</p>	<p>教育課程の管理、カリキュラム・マネジメント、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用</p>	<p>○学校や地域の特色を踏まえつつ、社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの推進を統括できる。 ○学習指導要領の内容に精通し、教職課程の編成を統括し、学校の教育目標の実現に向けた教育活動を推進できる。 ○学習指導要領の理念の実現に向け、校内研修を活性化して、課題を明確化させ、授業改善を指導することができる。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善、教材研究やICTの活用等について指導するとともに、学校体制の構築を進めることができる。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>幼児児童生徒理解、幼児児童生徒指導、教育相談、カウンセリング、進路指導、キャリア教育</p>	<p>○カウンセリングマインドに溢れ、児童生徒に対する深い理解があり、教職員が幼児児童生徒に適切な指導・支援ができるよう、自らの経験に基づく指導助言ができる ○個々の幼児児童生徒の状態を見立て、必要に応じて指導・支援のための学校体制の整備を図るとともに、保護者や関係機関と適切に連携することができる。 ○キャリア教育の視点を活かした効果的な教育活動の進行管理を行うとともに、地域等との連携も含めた学校体制の構築ができる。</p>
<p>マネジメント</p>	<p>ビジョンやリーダーシップ、学校経営、効率的な業務の遂行、学校安全、危機管理</p>	<p>○教育の動向を把握し、地域の実情も踏まえた適切な学校教育目標を策定し、その実現に向けた取組を教職員とともに進めることができる。 ○学校内外の状況を的確に把握し、学校作りのビジョンを持ってリーダーシップを発揮し、学校全体のマネジメントを適切に行うことができる。 ○自校の教職員の業務状況の把握や健康管理を的確に実施し、多忙化の解消と効率的な業務の遂行のためのマネジメントができる。 ○組織のリーダーとして、学校安全の確保に向けた危機管理及び危機対応を適切かつ迅速に行うことができる。</p>
<p>チーム学校</p>	<p>教職員の掌握と指導、家庭や地域との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成</p>	<p>○教職員個々人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な校内組織を構築し、活動を統括できる。 ○保護者や地域、専門家や関係機関との連携体制を構築し、信頼関係を築きながら、教育目標の実現に向けた取組を統括できる。 ○教職員個々人のキャリアステージに応じた資質能力の形成を支援・指導し、校内全体の人材育成を推進できる。 ○副校長・教頭や主幹教諭等の計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた次世代のリーダーを育成することができる。</p>
<p>京都ならではの教育</p>	<p>京都府教育振興プランの実現、京都の伝統文化の理解と発信、グローバル</p>	<p>○社会情勢や世の中の出来事に精通し、社会全体の大きな流れの中で教育のあるべき方向性を見据え、高い識見と豊かな教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向け、教育哲学や教育理念を周囲に伝播できる。 ○次代の京都府を担う人材の育成に向け、京都府や地域の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を構想し、組織的な取組として統括できる。 ○グローバル化を見据え、幼児児童生徒が自らの考えを発信できるコミュニケーション能力等を育成するため、学校全体の取組を統括できる。</p>